

永遠の詩 (The Song Remains the Same)

レッド・ツェッペリンと聞くと誰もが思い出すのは「天国の階段 (Stairway to Heaven)」だろう。8分もある長い曲だから最後まで聴いたことのある人は少ないかもしれないが、アコースティック・ギターで始まる抒情的なイントロだけは誰しも耳にしたことがあると思う。ちなみに「天国の階段」は「レッド・ツェッペリンIV」という超名作アルバムに入っていて、これには他にも「ブラック・ドック」や「ロックンロール」、おまけに個人的にはツェッペリンの最高傑作と思う「レヴィー・ブレイク (When The Levee Breaks)」が収録されているので、大概の人はこれを聴いて大満足となり、そこから先の彼らのアルバムにはあまり関心がないというのが実情のようだ。

というのも、その次に出された5枚目のアルバムが「聖なる館 (Houses of the Holy)」なのだが、これは悪評噴々たるものだったのだ。アルバムジャケットからして次のようなショッキングな写真であり、これはいかにも悪趣味だと多方面から物議をかもした。そんなことが理由で5枚目以降のアルバムは売れ行きが低下傾向を辿ってしまったのかもしれないが、僕はこのアルバムを高校1年の時に買い、それからしばらくの間、寝食を忘れてこれを聴きこんだ。しまいには自分でも演奏したいと必死になってギターを耳コピしたが、残念なことに、結局完奏できたものはひとつもなかった。一緒にバンドを組んでいた友達にも聴かせたが、“難しい”、“わからない”、とか気に入ってくれる奴は現れず、自分たちで演奏する機会はずいぶん訪れなかった。でも今聞いても、革新性は群を抜いていると思う。僕は好きだ。



さて、今回のコラムの表題はその1曲目である。

<https://www.youtube.com/watch?v=DtVKz0rv4cg>

前置きが長くなったが、突然、なんでこんな話を持ち出したかと言うと、去る 10 月 29 日～30 日に開催された FOMC の議事録を読んでいて、“あれ？”と思う一節を見つけたからである。

“The risk that a global growth slowdown would further weigh on the domestic economy remained prominent.”

グローバルな景気減速が米国経済をさらに悪化させるかもしれないというリスクは、突出して残存している、とでも訳せばよいのかもしれないが、そんなことはどうでもいいのだ。この “risk - remained prominent” という言い回しを見つけて、僕は表題のツェッペリンの曲をすぐに思い出した。そしてすぐ、一人の F R B メンバーを連想した。

この文章を創案したのは、現在、F R B の No.3 である NY 連銀ウィリアムズ総裁 (John C. Williams, Vice Chair) に違いない。何故ならウィリアムズ総裁は前職のサンフランシスコ連銀を去る時に、自らが考案した “R-Star” を、次のようなゴシック体のロゴにしてプリントした T シャツをスタッフにプレゼントしたという逸話の持ち主である



AC/DC というのはこれまたロックファン、とりわけヘビーメタル系の人にはたまらない

オーストラリア出身のバンドであるが、彼らの場合、音楽性もなることながら、このロゴとTシャツがバカ受けした。それを真似て置き土産にした人である。ひょっとしたら **R-star** の **R** も **Rock** なのかもしれないが、おそらくこれは **Real** の **R** だろうな。

でも、そんなウィリアムズ総裁だから、きっとツェッペリン好きに違いない。第一、“**risk remained prominent**” なんてカッコいいセリフは、その辺の頭の固い人間が思いつくわけない。

と、勢い込んでここまで書いてしまったが、本当はそんな暇などないのである。しばし楽しい妄想に我を忘れてしまったが、また仕事に戻ります。